

災害時の支援に関する覚書・協定を締結 害時に心強い協力体制を構築



1 鈴木専務理事(左)、内山小笠地区長(右)と記念撮影 2 寄贈品のLPガス発電機
3 炊き出しデリバリーステーション 4 5 署名を行う菅沢事業場長(左)と市長

1月18日、一般社団法人静岡県LPガス協会小笠地区会との「災害援助に必要なLPガスの供給等に関する覚書」締結式が行われ、長谷川寛彦市長と同法人の内山旭小笠地区長が協定書に署名し、災害時の支援強化を図りました。また、同協会との「LPガス防災資機材」の寄贈式も行われ、鈴木邦佳専務理事から市長へ「LPガス発電機」と「炊き出しデリバリーステーション」の目録が手渡されました。

1月25日にはNOK株式会社東海事業場との「災害時の支援に関する協定」締結式が行われ、市長と同社の菅沢祐一事業場長が協定書に署名し、災害時の協力体制の強化を図りました。

令和5年菊川市消防出初式 火への気持ちを新たに

1月7日、菊川市消防出初式が消防庁舎に隣接する消防防災ヘリポートで行われました。10分団で構成する市消防団の団員をはじめ、市消防本部や消防署員、来賓などおよそ200人が参加。消防団活動に功績のあった功労者114人の表彰が行われました。また、縣佑次団長と長谷川市長の式辞や火の用心三唱、万歳三唱も行われ、地域防災への決意を新たにしました。

式典終了後には、消防本部の化学車1台と消防団のポンプ車4台による一斉放水が行われました。



▲ポンプ車による大迫力の一斉放水

新春初揉み会 統の技で新年を祝う

1月6日、町部地区センターで菊川茶手揉保存会と小笠手もみ製茶技術保存会による毎年恒例の新春初揉み会が開催されました。両会から12人の会員が参加し、手もみで新年を祝うとともに今年の茶業繁栄を祈願しました。3台のほいろを使い伝統の手もみ技法を駆使して、4キログラムの茶葉を仕上げていきました。

仕上げた茶葉は、両会の会長から原田修一副市長などに手渡されたほか、市内に住む今年度100歳を迎える21人に郵送されました。



1 丁寧に茶葉を揉む 2 原田副市長へ手もみ茶を手渡す